

新しい空間データが切り拓く 空間情報科学の未来

第34回 地理情報システム学会学術研究発表大会

2025年11月2日(日) 9:00~12:40

富山大学五福キャンパス 会場A(C21番教室)

企画セッション

参加費無料

空間情報科学は空間データとそれを取得・構築する技術と共に進化してきました。近年では、GPS機能に基づく人流データや PLATEAU に代表される 3D 都市空間データ等、かつてないほどに詳細な空間データが利用可能になっています。また、ドローン、LiDAR、スマートフォンに搭載された各種センサーなど、研究者が自らデータを取得する方法も急速に発展しています。さらに、データの統融合・利活用を促進するデータコモンズといった取り組みも広がりを見せてています。このシンポジウムでは、新しい空間情報を活用した研究や、データ構築、データ利活用の取り組みを紹介します。新たな空間データや、空間データ取得技術が、空間情報科学の未来をどのように形作っていくのか、一緒に考えていきましょう。

セッション1 (9:00 ~ 10:40)

9:00-9:05 趣旨説明 山田育穂 (CSIS)

9:05-9:20 JoRAS 共同研究内容の変遷 (1998-2024年)

吉田崇絵・山田育穂・矢澤優理子・ピニエイロ アベウ タイチ コンノ (CSIS)

9:20-9:40 UAV (ドローン) を活用した空間データの取得と利活用の展望

飯塚浩太郎・ピニエイロ アベウ タイチ コンノ (CSIS)

9:40-10:00 富山県における衛星データ利活用研究の取り組み

岩本健嗣・河崎隆文 (富山県立大学)

10:00-10:20 社会実装に活かす空間データ化の試み

鶴見隆太 (株式会社日建設計総合研究所)・吉田崇絵 (CSIS)

10:20-10:40 地理参照サーバイデータによる社会調査と空間データの連携

埴淵知哉 (京都大学)

セッション2 (11:00 ~ 12:40)

11:00-11:40 企業における最先端の取り組み

3次元都市空間データ～デジタルツインへの入り口と今後の展望～

佐藤俊明 (株式会社パスク)

位置情報データを読み取る～富山の観光を事例として～

中野裕貴 (ジオテクノロジーズ株式会社)

合成人流データとマルチソースデータの融合による人流分析の高度化：国内外の応用事例と将来展望

田中啓・江端杏奈・森山拓洋 (株式会社 GEOTRA)

11:40-12:00 街路画像ビッグデータはこれからのまちづくりにどう貢献できるか？

沖拓弥 (東京科学大学)

12:00-12:20 位置情報ビッグデータを用いた都市エリアと生活移動パターンのモデリング

庄子和之 (名古屋大学)

12:20-12:40 パネルディスカッション・質疑

